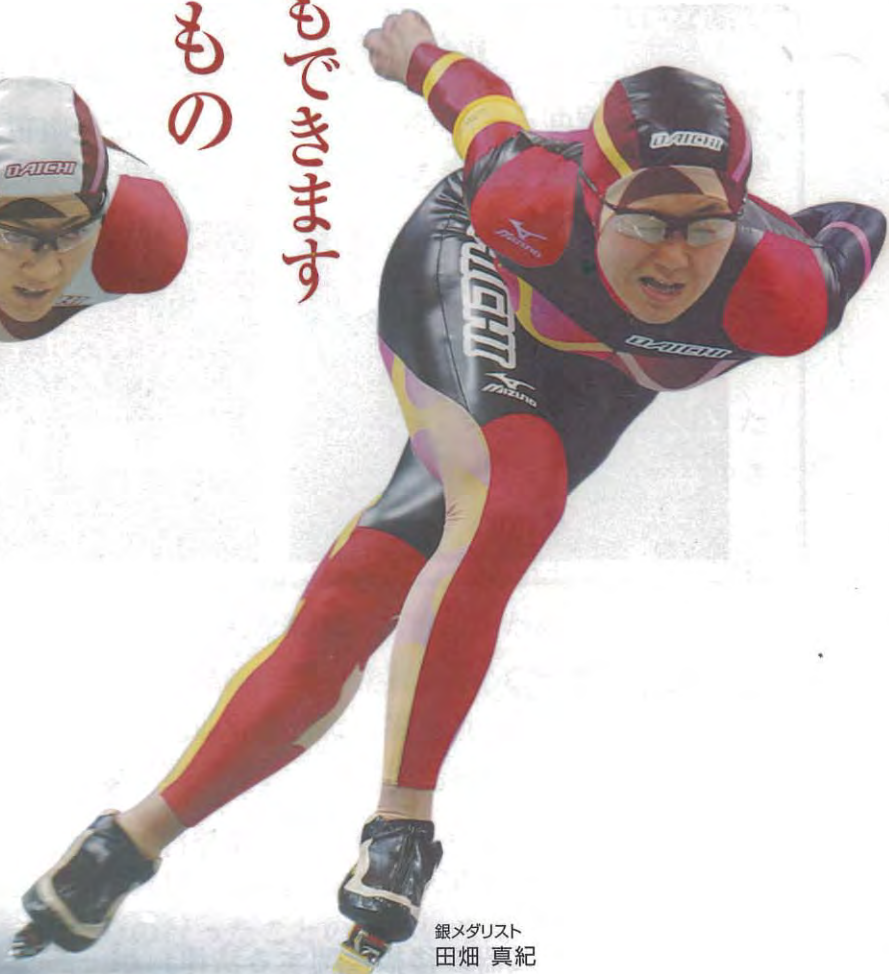


富山県アイバンク だより

「光」の贈りもの
献眼であなたにもできます



銀メダリスト
穂積 雅子



銀メダリスト
田畑 真紀

2010年 富山県民栄誉賞受賞 タイチ株式会社所属

献眼者ご芳名

平成21年4月～平成22年6月まで

平成21年

4月 故 川田美也子様 入善町
 故 高井かしく様 高岡市
 6月 故 宇治 稔様 富山市
 故 岡本 キノ様 富山市
 7月 故 山本 良様 富山市
 8月 故 岡田真一郎様 入善町
 9月 故 山崎 綾夏様 射水市
 10月 故 匿名希望 入善町

平成22年

2月 故 有澤 澄子様 富山市
 故 山城 静枝様 富山市
 3月 故 吉田美枝子様 高岡市
 4月 故 永川 都様 富山市
 5月 故 岡本登世子様 富山市
 6月 故 藤野 正晴様 富山市
 故 匿名希望 南砺市



—謹んでご冥福を
お祈り申し上げます—

厚生労働大臣感謝状伝達式

10月18日（月）、県庁特別室においてご献眼頂きました皆様には、厚生労働大臣からの感謝状を伝達させて頂きました。



ごあいさつ

公益財団法人富山県アイバンク
理事長 高田 眞

「富山県アイバンクだより第16号」を発行するにあたり、ひとことご挨拶申し上げます。日ごろ、皆様にはアイバンク運動に対し深いご理解とご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

本年7月に「臓器の移植に関する法律」が一部改正され一般の方々の臓器提供の意識が高まりつつあります。献眼についてより一層の理解を賜り、一人でも多くの角膜疾患の方々が光を取り戻すことができるよう活動を進めてまいりたいと思います。

ひとこと添えて、第16号発行のご挨拶といたします。

母と献眼

永川 武文

平成22年4月5日午前6時12分母は眠るように静かに89年と8カ月の人生に幕を下ろし、そして献眼をさせていただきました。

献眼のきっかけは、私が永年勤めた公務員を退職したのを機にライオンズクラブに入会させてもらい、そこでクラブの活動の1つである四献（献眼、献血、献腎、献髓）推進運動を知りました。

そして、ある時の例会でアイバンクのコーディネーターの方を招いて、献眼に関する意義や現状をお聞きする機会があり、それならばと私自身も登録をしました。

その後、医師から母の危篤を知らされた時に私の^{きょうだい}弟妹と家族に献眼の意向を話したところ、理解を示し賛成してくれたことからアイバンクへ連絡し、当日は処置のあと丁寧にエンゼルメイクを施していただき、母は10歳ほど若返ったようなきれいな顔で帰宅致しました。

そして、葬儀のあと参列していただいた何人もの方から「お母さんは良いことをされましたね。私もそうしようかな？」と声をかけていただき、家族ともども安堵させていただきました。

また、母は昔から乗り物には極端に弱く、路線バスに10分間乗っただけでも家に帰って寝込んでしまうような人でしたから私の知る限りでは“旅行”と名の付くものには1度も行ったことがないと思います。

このことから、葬儀の最後で「……、しかし最後に乗り物酔いの心配もなく、また帰りの心配もなく、そして一番遠い所へ旅立っていきました。」と挨拶させていただきました。

それから数週間後、移植を受けられた方からのお礼の手紙の中にこんな短歌が1首したためてありました。

病みし眼の 我も津和野を 訪ね行く

老いたる母に 導かれつつ

この歌から、たぶん旅行のお好きな方とお察し致します。

だとすれば、母は今頃この方の眼の一部となり、一緒に自分の行ったことのないいろんな所を旅していることでしょう。

そう思うと今回の献眼を母も喜んでいてくれるのではないかと、家族とともに心がやすらぎます。



老母が、得意満面にした日々。

岡本 武勇



母が逝ってはや1年が経ちました。享年95歳、大往生でした。大正の初めに生まれ、昭和、平成へと、さまざまな苦労を重ねてきました。90歳を過ぎても畑に出て、90度に曲がった腰を伸ばしながら「健康ですちゃ」と笑っていました。

母が若妻の頃、日華事変が勃発していました。夫が応召され、家は「出世軍人留守家庭」となって、女手一つで1ヘクタール余もの田を耕し、幼いわれわれを育てていました。それこそ、戦前、戦中、敗戦、戦後復興、食糧増産などといった社会的な背景は、母にとっては正に苦労の連続で、孫を抱く以外には楽しみの機会がなかったように思われます。

ところが、そうした苦労の中でも晩年になって「僅かの4カ月間」でしたが、生涯で初めてという「楽しさ・嬉しさが満面にあらわれた」日々を体験していました。それは、亡くなる2年ほど前の頃です。

母は、腰痛を治療するために市内のA病院へ入院しました。ところが快方に向かうどころか、寝たきりの重病人になってしまいました。母の希望で市内のある老人保健施設の方へ入所させました。すると、この施設でのケアが母にはすこぶる合ったようで、入所してから暫くすると少しずつしっかりした兆しが見えてきたのです。暫くして、寝たきりから車いすのある生活に変わりました。しかし、それまで自転車に乗った経験がない母でしたから、車いすに乗せるのが難しくて車いすの扱いには大変手間どっていました。母も、何とか看護師さんの手を借りないでと苦心に苦心していたようでした。その甲斐があつてある日、自力でベッドから車いすに移って動かせるようになっていたのです。母は実に喜んでいました。母の喜ぶ顔を見て、われわれは非常に驚き感謝しました。

朝・昼・夕と午前・午後のおやつの中には、



食堂ホールへ、またラウンジで新聞に目を通したり、気晴らしにと広い施設内を一回りしてくるといった具合に、それはそれは楽しい日課に変わったのです。奇跡！とも思えるような母の様子には、「長い人生の中で、もっとも楽しい“有閑階級”の日々が訪れている」ことを窺わせていました。「小さな躯体を車いすに沈めて、得意満面に漕いで行く様子」、「幾度も幾度もふり返りながらホールの人ごみの中へ紛れていく様子」、その母の姿を見ていてホントに愛おしく思われたのでした。いまでもわれわれの目に焼き付いています。

<“丸くなりし小さき背沈めて車いす漕ぎつつ母は我を見返る ぶゆう”>

しかし、人の運命とは分からないものです。A病院での「寝たきり治療」から解放され、生涯最高の有閑階級の楽しい暮らしをしたのもそれは僅かに4カ月間でした。母に不遇な運命が待っていました。お昼時間、施設のおおぜいの中で車いすの母がぼろりと箸を落とし、意識不明の状態で倒れたのです。脳梗塞でした。

緊急入院してから約500日間の闘病でした。「あえがろ（ありがとう）」のお礼の言葉も失い、再び車いすをと願ったが叶わず、静かに逝ってしまいました。

「人さまのために」という、母の日ごろの心を大事にして献眼いたしました。アイバンクの方から「とってもきれいな角膜でしたよ」と褒められ、また、移植を受けられた匿名の方から感謝の御礼状も頂きました。

一周忌を間近にしたある日、桜花の散る頃でしたが、われわれは美しい並木の通りを歩いてみました。「きれいな角膜が、どなたの目に移って、美しく映しているだろうかね」、われわれは期せずして口にしていました。そして、桜の古木が母のように思えて、散りゆく花びらを掬っていました。

<“いづくにて爛漫の花見ていますか移植されたる亡母の角膜 ぶゆう”>

.....臓器移植法が改正されました.....

平成22年7月17日に「臓器の移植に関する法律」が一部改正されました。

改正点

○脳死での提供については、本人が提供を拒んだ意思表示をしていない限り、家族の同意で提供が可能となりました。献眼については、従来通り心臓死での提供となりますので現状と変更ありません。

○親族優先提供が可能となりました。

優先提供の範囲は、親子、夫婦間です。親族優先提供を希望される方はあらかじめ、その意思を書面にて表示しておかなければなりません。詳しくは、アイバンク事務局までお尋ねください。

院内コーディネーター紹介

厚生連高岡病院

病院長 亀谷 富夫

脳神経外科病棟管理看護師長 浜井 郁美
ICU・CCU看護師長 井波 雅子
救急外来看護師長 鈴木 千歳



当院は第3次救命救急病院としての指定を受け、
脳死臓器提供病院という役割を担っています。

平成11年から院内コーディネーターが3名設置されています。院内コーディネーターの活動として、臓器提供について意思確認の活動・富山県院内コーディネーター連絡会の参加・県コーディネーターの高橋さん、入江さんと月1回定期的に臓器移植院内コーディネーター委員会を開催しケースカンファレンスを行っています。また、年1回病院内外に参加者を募り移植講演会を開催しています。昨年は、最初当院に入院され、その後米国で心臓移植を受けられた、「大樹君を救う会」代表の松原勝久氏より「救える命がそこにある」と題し事例を通して移植の知識を深める講演会を開催しました。今年は、臓器移植に関する法律が改正され7月17日より全面施行となりました。そこで6月25日に「臓器移植法改正と病院の役割について」と題して講演会を開催しました。

当院では、平成4年から平成21年までに、3例の腎臓提供と13例の眼球提供がありました。

平成20年に眼球提供された事例は、ご本人が延命を望んでおられず、移植の希望をもっておられたこと、「人の役に立ちたい」というご本人の意志をご家族と話をしている中で知ることができ提供に至ったものです。ご家族は本人の意志を尊重することができたことを、涙を流しとても感謝されました。その後、角膜は無事移植され、視力の回復をされたと聞いています。私達は、患者様の意志を尊重し、思いを叶えるための相談や支援をしています。

今後の課題として、臓器移植法改正に伴い院内マニュアルの見直しおよび改訂も必要です。そして院内教育として職員の臓器提供適応判断・意識向上の啓発も進めていかねばなりません。

今後も、移植に対する知識・理解をさらに深め、患者様・ご家族の方の意志を最大限に尊重して支援していきたいと考えています。

「ひとごと」の意識

高岡フラワーライオンズクラブ

2010年～2011年 保健社会福祉委員長 能町 操

先日、友人の妹さんから「姉の遺骨が帰ってきます。納骨の時に立ち会っていただけないでしょうか」と電話が掛かってきました。

この友人は昨年亡くなり、本人の希望により献体をしておられたのです。

彼女の献体申請については30年程前から聞いており、「いずれ、私も…」との思いが心を掠めていましたが、ライオンズクラブで献眼



の知識を深めるため、アイバンクの入江コーディネーターをゲストにお招きして勉強会や献血の呼びかけに参加していても、よいこと・必要なことと分かっていながら、どこか他人事のような消極的な意識でいました。

ところがこの度、保健社会福祉委員長に指名され、福井市でキャビネット主催の次期四委員会合同セミナーに出席する機会が与えられたことと、友人の献体の件と時期を同じくして身近に接することになり、もう、目を背けていることが出来なくなってきました。そこで、これを好機ととらえ、高岡フラワーライオンズクラブの会員の方々や、一般社会の皆様にご協力をお願いする前に、まず、自分自身、長年心に引っかかっていた献体の申請を実行しようと決心させられました。

過去、高岡フラワーライオンズクラブでは、献血の呼びかけをしたり、会員の方々やご家族の方が献眼の申出をされる等、熱心に活動を推進してこられました。



きながら先駆者を見習い、息子や職場の男性職員に「献血に来て…」と頼んだり、献眼の勉強会で学んだことを思い出しながら、身近な人たちにその必要性を訴えるなど、小さな一歩から動き始めた今日この頃です。

献眼運動に関わって

黒部ライオンズクラブ

2010年～2011年 四献委員 菅野 寛二

黒部ライオンズクラブでは、四献推進活動のひとつとして献眼登録活動にも力を入れております。

特に、毎年黒部市総合公園で行われているイベント「エブリバディスポーツデイ」の会場では、献眼登録推進のチラシを作成し、献眼登録パンフレットといっしょに来場者に配布しております。

なかなかその場で「登録」というのは難しいのですが、献眼についての話を聞いていただける方は何人もいらっしゃって、少しでも献眼について皆様に理解していただくよう活動を行っております。

これまで、メンバーあるいはその家族の献眼提供は何回かありましたが、角膜移植を待っていらっしゃる患者さんの数からすれば、現在の献眼登録者数ではまだまだ少ないと聞いております。これからも地道ながら献眼登録活動を継続していきたいと思っております。



献眼登録

人生最後のボランティアに参加しましょう

あなたのやさしい心が
愛の光となって生きつづけます

10月11日(祝)
10:00~15:30
黒部市総合公園
体育センター前

エブリバディスポーツデイ2010
会場にて同時開催

献血・骨髄バンクの登録も
行っています

黒部ライオンズクラブ
〒746-0201 黒部市黒部1-1-1
TEL: 0765-64-1026 FAX: 0765-64-1060

黒部ライオンズクラブ
TEL: 0765-64-1026 FAX: 0765-64-1060

献眼Q&A

- ① 献眼可能な年齢はいつまでですか？
② 献眼にはどのような条件がありますか？
③ 献眼しても登録できますか？
④ 登録しても登録料はありますか？
⑤ 献眼した後に視力が悪くなることはありますか？
⑥ 献眼した後に視力が悪くなることはありますか？
⑦ 献眼した後に視力が悪くなることはありますか？

黒部市総合公園 体育センター前

ご芳志ありがとうございました。

敬 称 略

□寄付者 ご芳名 平成21年6月～22年5月

☆一般

富山県呉西地区眼科医会	83,000	矢木義人	3,000	田之下和美	3,000
メガネハウス	50,000	中保 昭	3,000	坂田楨子	3,000
カモの会	49,897	中川正吉	3,000	高木 久	3,000
富山県法人会連合会	43,000	北村よし	3,000	中川吏永子	3,000
竹本福志	30,000	宇波喜久男	3,000	下条省三	3,000
水上新松	15,000	舘 智子	3,000	鹿島うら子	3,000
浜田ヒロ子	10,000	跡治幸子	3,000	桶屋賢二	3,000
坂森耕一・セツ子	10,000	千龍義信	3,000	寺崎 壽	3,000
梅本敏明	10,000	炭谷洋子	3,000	佐伯文江	3,000
嶋作恭子	10,000	角谷邦明	3,000	松倉義子	3,000
吉田幸子	10,000	堀 和子	3,000	堀 壽夫	3,000
河島早苗	10,000	片口尚志	3,000	田中昭子	3,000
山下 泉	10,000	浅尾ミサヲ	3,000	小池節子	3,000
吉村泰介	10,000	寺沢和美	3,000	林とみい	3,000
豊田耕一	10,000	宮島さだ子	3,000	花房紀行	3,000
吉村 修	10,000	升田義次	3,000	麦谷 弘	3,000
平田秀樹	10,000	福呂況子	3,000	井上政雄	3,000
吉森輝夫	9,000	稲村栄勝	3,000	大井山淑美	3,000
藤巻篤子	9,000	渡辺京子	3,000	下関幸子	3,000
飴谷和代	6,000	飯田民子	3,000	針山常喜	3,000
石垣誓子	5,000	西野みどり	3,000	村中隆之	3,000
藤原知子	5,000	寺島恵津子	3,000	境 里子	3,000
酒井道夫	5,000	澤田壽朗	3,000	翁 昇	3,000
石黒 寛	3,000	千龍かな子	3,000	高島哲朗	2,000
武田 宏	3,000	林 玲子	3,000		
吉澤義明	3,000	中西広一	3,000		

☆ライオンズクラブ関係

富山県ライオンズクラブ奉仕銀行	2,500,000	森田忠雄 (富山神通LC)	3,000
ライオンズクラブ2R2Z	100,000	和泉弘司 (富山神通LC)	3,000
ライオンズクラブ2R3Z	100,000	中村政勝 (富山いきいきLC)	3,000
富山南ライオンズクラブ	200,000	有限会社タートルライン (黒部LC)	10,000
魚津ライオンズクラブ	100,000	長田雅子 (入善LC)	200,000
高岡古城ライオンズクラブ	100,000	入善工業株式会社 (入善LC)	10,000
氷見ライオンズクラブ	100,000	元野清光 (魚津LC)	3,000
高岡伏木ライオンズクラブ	100,000	橋本浩八郎 (魚津LC)	3,000
新湊ライオンズクラブ	100,000	医療法人光ヶ丘病院 (高岡LC)	200,000
富山東ライオンズクラブ	50,000	株式会社双葉商会 (高岡LC)	10,000
富山いきいきライオンズクラブ	50,000	城 外喜男 (高岡LC)	3,000
富山高志ライオンズクラブ	40,000	山下和夫 (高岡伏木LC)	3,000
株式会社北日本工芸 (富山LC)	50,000	匿名希望 (小杉LC)	100,000
福井 博 (富山みなとLC)	3,000	吉田 隆 (となみセントラルLC)	30,000
有限会社永栄商事 (富山雷鳥LC)	10,000	小野医療器株式会社 (となみセントラルLC)	5,000
佐藤善政 (富山南LC)	3,000	小野豊次郎 (となみセントラルLC)	5,000
野村健造 (富山南LC)	3,000	熊野澄雄 (となみセントラルLC)	5,000
株式会社能瀬金城堂 (富山東LC)	10,000	太田 守 (となみセントラルLC)	5,000
伊賀 肇 (富山平成LC)	10,000	米林清一 (となみセントラルLC)	5,000
吉田和雄 (八尾婦中LC)	100,000	岡部昇栄 (となみセントラルLC)	3,000

□賛助会員 平成21年6月～22年5月

個人会員

☆一般

齋藤謙一	網美保子	山下 泉	藤巻篤子	中川正人	狩野俊哉
東 静子	松倉義子	山本明彦	新田正昭	山下陽子	林 篤志
尾山和子	石川恵子	片山寿夫	森田嘉樹	小沢正康	鳥崎真人
高島哲朗	奥原喜代司	澤田朋一	谷口保孝	作村佐智子	野松美智子
金井澄子	清水英子	豊田葉子	土田 豊	広野登志子	横田 力
石田ひとみ	斉藤周子	舘奈保子	北川清隆		

☆ライオンズクラブ関係

・富山西ライオンズクラブ	豊岡 正	中嶋 進	元野勝行	虎谷武道
・富山ライオンズクラブ	中島奈々	中野道嘉	高縁 勲	高岸和男
笠間 進 河上 寛	中村三郎	樋口善次	佐々木幹郎	山崎久子
・富山雷鳥ライオンズクラブ	藤倉栄之	森 雅志	寺崎達二	秋本政亮
岡田幸光 太田 茂	山口勝康	山田孝志	小坂 章	松崎孝治
森 弘 竹原幸市	吉田松男		清河 衛	清河高之
波岡邦夫 清水幸之助	・富山いきいきライオンズクラブ		清水憲治	石崎敬治
田村敏之 西野義隆	大浦 均		川上祐子	長岡昭男
笹倉秀樹 梅田清一	・黒部ライオンズクラブ		入井孝博	畠山 明
・富山南ライオンズクラブ	菅野寛二 伊東景治		八木 洋	稗苗清吉
高柳 昇	桶屋博明 中尾順一		浜多等志	富山 剛
・富山ちゅうりっぷライオンズクラブ	井田真一 大浦清重		保里真理子	油本 茂
長勢知子 波岡一子	柏原 憲 川本敏和		廣瀬和夫	澤泉 弘
・富山神通ライオンズクラブ	佐々木和明 高須貞夫		石川雅朗	
林 巖	中野保夫 三井適夫		・高岡古城ライオンズクラブ	
・大山ライオンズクラブ	山口正人 吉田重治		若森征雄	
岡本武勇	菅野美代子		・高岡志貴野ライオンズクラブ	
・富山西ライオンズクラブ	・上市ライオンズクラブ		鎌谷克彦 山崎与四之	
浅野紀男 新井司朗	井上誠治		・高岡フラワーライオンズクラブ	
荒木孝吉 石川之伸	・立山ライオンズクラブ		一川順彦	
石本 剛 入坂文一	桑原米蔵		・高岡伏木ライオンズクラブ	
内山芳一 大郷 穰	・入善ライオンズクラブ		山 孝之 中山勝儀	
岡崎 誠 岡畑康一郎	市岡義望 道原英克		渡邊一三 山口清和	
面谷百合子 佐賀野昭一郎	・魚津ライオンズクラブ		・砺波ライオンズクラブ	
志鷹淳一 澤田孝之	伊東紀一 河崎直通		野村謹吉 廣瀬利行	
田畑裕二 土井光男	宮野高司 慶野耕一			

法人会員

☆一般

司法書士藤沢実事務所 株式会社広野
平田眼科医院 久保毅税理士事務所

☆ライオンズクラブ関係

・富山セントラルライオンズクラブ	株式会社オカダアート	・高岡中央ライオンズクラブ	株式会社岩黒製作所
・富山昭和ライオンズクラブ	・八尾婦中ライオンズクラブ	株式会社藤井産業	・高岡伏木ライオンズクラブ
・滑川ライオンズクラブ	株式会社富山県義肢製作所	・富山神通ライオンズクラブ	株式会社マルチ・アクセス・カンパニー
・滑川有恒ライオンズクラブ	・黒部ライオンズクラブ	株式会社富山県義肢製作所	丸進商事株式会社
・となみセントラルライオンズクラブ	菅野印刷興業株式会社	・入善ライオンズクラブ	東光運輸株式会社
・富山ライオンズクラブ	株式会社黒東アメニティ公社	株式会社黒東アメニティ公社	日本海産業株式会社
株式会社押田建設設計事務所	・魚津ライオンズクラブ	株式会社丸八	有限会社笹島商事
富山スガキ株式会社	株式会社丸八	・高岡ライオンズクラブ	有限会社山下建築設計事務所
高瀬公認会計士事務所	・高岡ライオンズクラブ	医療法人光ヶ丘病院	伏木海陸運送株式会社
株式会社タイワ精機	・高岡古城ライオンズクラブ	株式会社セイ・アグリシステム	北陸エンジニアプラスチック株式会社
サンユウセキュリティ株式会社	株式会社セイ・アグリシステム	・高岡志貴野ライオンズクラブ	株式会社マスイ
北陸バンドー株式会社	・高岡志貴野ライオンズクラブ	富源商事株式会社	・小杉ライオンズクラブ
・富山雷鳥ライオンズクラブ			ミユキ化成株式会社
			・砺波ライオンズクラブ
			株式会社ガスコムノムラ

募金ありがとうございました。

平成21年6月～22年5月

☆一般

ポプラ高岡泉ヶ丘店	35,902
ポプラ富山中屋店	34,642
中川眼科医院	33,107
大城眼科医院	20,573
メガネのハラダ	15,411
ポプラ新湊作道店	14,617
福岡町ボランティア大会	13,464
ポプラ国分浜店	12,765
ポプラ伏木古府店	12,178
ポプラ小杉東店	11,066
富山大学附属病院眼科	10,140
こしび眼科クリニック	8,762
	8,314
片山眼科医院	7,425
高岡市民病院売店	6,864
金子眼科医院	5,321
ポプラ戸出春日店	4,836
新田眼科	4,533
町田スゞ工	3,000
金戸 律子	3,000

☆ライオンズクラブ関係

八尾婦中ライオンズクラブ	15,560
上市ライオンズクラブ	10,000
入善ライオンズクラブ	48,818
朝日町ライオンズクラブ	7,400
高岡志貴野ライオンズクラブ	17,431
氷見ライオンズクラブ	39,000
・富山ライオンズクラブ	
宮岸株式会社	6,823
阪神化成工業株式会社	4,379
・富山高志ライオンズクラブ	
日本命理学会・四柱推命	6,279
新鮮市場パローレ庄川店	3,700
ヘルシーケーキ「ユース丸」	2,945
野崎・青山ゼミ写真教室	2,850
新富旅行株式会社	2,544
水新建設株式会社	2,487
ヘアサロン「リユー」	738
喫茶「ビッグジョイ」	654

平成22年度年賀寄附金の配分を受けました。

郵便事業株式会社より平成22年度年賀寄附金の配分を受け「献眼登録推進のための普及啓発用のチラシ、資料等の作成のためのカラー複合機」の導入を行いました。

月1回発行のアイバンク情報の印刷、講演会などの資料作成など、啓発活動の資料作りに有効に活用していきたいと思っております。ありがとうございました。



財団法人富山県アイバンク 平成21年度事業報告書 (平成21年1月1日から11月1日)

<公益事業1> 眼のあっせん等に関する事業

(1) 献眼登録者の募集および啓発事業

登録パンフレット1,500部を印刷し、富山県善意銀行へ配布した。
登録希望者へパンフレットの配布、登録カードの発行を行った。
本年度の献眼登録者数は77名となった。

(2) 眼球あっせん事業

① 眼球のあっせん

- ドナー情報が、16名あり、15名から提供を頂いた。

献眼月	年齢	性別	在住地	献眼月	年齢	性別	在住地
1月	70歳代	男性	富山市	4月	90歳代	女性	高岡市
	70歳代	男性	富山市	6月	50歳代	男性	富山市
	40歳代	男性	富山市		90歳代	女性	富山市
2月	70歳代	男性	黒部市	7月	80歳代	男性	富山市
	90歳代	男性	上市町	8月	60歳代	男性	入善町
	70歳代	男性	黒部市	9月	10歳代	女性	射水市
3月	70歳代	男性	富山市	10月	年齢	性別	公表せず
4月	70歳代	女性	黒部市				

- 提供者のご葬儀に参列し、弔辞を奉読し、感謝状を伝達した。
- 提供者ご遺族へ、角膜移植報告を行った。
- 提供眼球的検査等を行い、医学基準に基づき、あっせんを行い、31名の方に角膜移植が行われた。
- 5月14日、県庁特別室において2008年5月から2009年4月までの献眼者20名に対して厚生労働大臣感謝状伝達式を開催した。

② 移植希望者の募集および登録

- 移植を希望する医療機関より移植申込を受け、移植待機リストを作成した。

(3) 普及啓発事業

① 医療従事者への啓発活動

- 院内コーディネーター連絡会（1月、3月、5月、7月、9月）を開催し、院内コーディネーターへの啓発活動を行った。
- 病院症例検討会を行った。
富山県立中央病院・厚生連高岡病院（毎月1回）
高岡市民病院（2月、4月、6月、8月、10月）
- 院内移植委員会に参加（市立砺波総合病院3月、6月）
- 病院での講演会活動
北陸中央病院2月、南砺市民病院3月、かみいち総合病院3月、
八尾総合病院7月
エンゼルメイク講習会（富山県立中央病院計6回 富山福祉短大看護学科）
- 啓発活動の一環としての講演会共催
市立砺波総合病院 7月 済生会富山病院 7月
高岡市民病院 8月 厚生連高岡病院 10月

② 一般県民への啓発活動

- 街頭での啓発活動
射水市役所前にて登録パンフレットの配布 3月
福岡町ボランティア大会にて登録パンフレット配布と募金活動 7月
黒部市総合運動公園にて登録パンフレットの配布 10月

<公益事業2> 眼の衛生に関する普及啓発事業

- (1) 広報誌発行にむけて、広報委員会を開催し、企画立案を行った。

- (2) 眼の衛生に関する講演会（高岡フラワーライオンズクラブ例会にて開催）
- (3) 広報誌「アイバンク情報」を月1回発行し、ホームページに掲載した。

<その他>

- 1月 高瀬、港両監事に平成20年度事業報告書並びに決算報告書の監査を受けた。
- 2月 スタッフ委員会を開催し、「公益法人移行手続き」に向けて検討を行った。
理事会・評議員会を開催した。
角膜移植学会において「国内最高齢107歳からのドナー角膜移植」と題して発表を行った。（朝日新聞大阪版の記事になった。）
- 4月 スタッフ委員会を開催し、理事・評議員定数変更に関する「寄附行為変更案」をまとめた。
- 5月 理事会・評議員会において「寄附行為の変更」を審議し、承認となった。
- 7月 高瀬、港両監事に平成21年度中間期事業報告書並びに決算報告書の監査を受けた。
評議員選定委員会
- 8月 理事会・評議員会において「定款」の変更を決議した。
公益財団法人への移行申請書の提出。
- 10月 県より公益財団法人への移行の認定を受けた。
- 11月 移行登記申請。

公益財団法人富山県アイバンク 平成21年度事業報告書（平成21年11月2日から12月31日）

<公益事業1> 眼のあっせん等に関する事業

- (1) 献眼登録者の募集および啓発事業
 - 登録希望者へパンフレットの配布、登録カードの発行を行った。
 - 本年度の献眼登録者数は11名となった。
- (2) 眼球あっせん事業
 - ① 眼球のあっせん
 - 提供者ご遺族へ、角膜移植報告を行った。
 - 提供眼球の検査等を行い、医学基準に基づき、あっせんを行い、1名の方の角膜移植が行われた。
 - ② 移植希望者の募集および登録
 - 移植を希望する医療機関より移植申込を受け、移植待機リストを作成した。
- (3) 普及啓発事業（医療従事者への周知活動）
 - 院内コーディネーター連絡会（11月）を開催し、院内コーディネーターへの啓発活動を行った。
 - 病院症例検討会を行った。
 - 富山県立中央病院・厚生連高岡病院（毎月1回）
 - 高岡市民病院（12月）
 - 院内移植委員会に参加（市立砺波総合病院12月）
 - 啓発活動の一環としての講演会共催
 - 富山県立中央病院 11月

<公益事業2> 眼の衛生に関する普及啓発事業

- (1) アイバンクだより第15号を発行（6,000部）し、登録者並びに県内関係機関へ配布した。
- (2) 眼の衛生に関する講演会（富山雷鳥ライオンズクラブ例会にて開催）
- (3) 広報誌「アイバンク情報」を月1回発行し、ホームページに掲載した。

<その他>

- 11月2日 公益財団法人移行登記完了。
- 11月25日 理事会開催。
- 12月25日 評議員会開催。

平成21年度収支計算書（損益）

(単位：円)

科 目	決算額A	決算額B
I 一般正味財産増減の部		
1. 経常増減の部		
①経常収益		
基本財産運用益	241,629	0
基本財産利息収入	241,629	0
特定資産運用益	0	23,450
特定資産利息収入	0	23,450
受取会費	895,000	211,000
賛助会費収入	895,000	211,000
事業収益	4,050,000	300,000
角膜幹旋手数料	3,900,000	300,000
強膜幹旋手数料	150,000	0
受取補助金等	1,460,000	2,600,000
富山県補助金収入	0	1,350,000
日本アイバンク協会助成金収入	210,000	0
LC奉仕銀行助成金収入	1,250,000	1,250,000
受取寄付金	2,142,688	427,452
寄付金収入	1,756,000	332,897
募金収入	386,688	94,555
雑収益	16,785	0
受取利息収入	3,315	0
その他の収入	13,470	0
経常収益計	8,806,102	3,561,902
②経常費用		
事業費	5,476,895	3,086,499
眼球的あっせんに関する事業費	1,377,094	940,468
募集登録費支出	296,908	561,187
旅費交通費	127,275	45,330
印刷製本費	44,450	115,500
通信運搬費	57,608	13,167
広報費	67,575	387,190
あっせん事業費支出	1,080,186	379,281
摘出謝礼	11,111	300,000
旅費交通費	224,740	42,500
弔慰費	150,000	0
器具消耗品費	264,729	27,300
検査費	156,006	9,481
感謝状伝達費	273,600	0
眼の衛生に関する普及啓発事業費	4,000	976,140
啓発事業支出	4,000	976,140
印刷製本費	1,000	673,000
旅費交通費	3,000	0
通信運搬費	0	303,140
公益事業共用費	3,863,220	1,123,373
コーディネーター活動支出	246,099	4,318
諸給与支出	2,944,191	861,119
コーディネーター給与手当	2,523,068	832,837
福利厚生費	421,123	28,282
通信運搬費	214,366	49,407
事務消耗品費	148,502	60,586
雑費	60,142	98,199
その他	13,046	85,540
振込手数料	47,096	12,659
退職給付費用	249,920	49,744
什器備品償却費	232,581	46,518

科 目	決算額A	決算額B
管理費	2,077,777	621,808
諸給与支出	1,171,269	324,104
給与手当	1,073,325	317,410
福利厚生費	97,944	6,694
会議費支出	317,489	86,678
理事・評議員会他	290,489	74,678
旅費交通費	27,000	12,000
需用費支出	470,969	187,416
通信運搬費	69,228	12,142
対外渉外費	71,400	20,000
印刷製本費	3,150	29,400
事務消耗品費	102,679	34,444
賃借料	123,689	0
雑費	100,823	91,430
退職給付費用	62,430	12,486
什器備品償却費	55,620	11,124
経常費用計	7,554,672	3,708,307
評価損益調整前当期増減額	1,251,430	-146,405
評価損益等計	0	0
当期経常増減額	1,251,430	-146,405
2. 経常外増減の部		
①経常外収益	0	0
経常外収益計	0	0
②経常外費用	0	0
退職給付会計基準変更時差異額	5,966,280	0
経常外費用計	5,966,280	0
当期経常外増減額	-5,966,280	0
当期一般正味財産増減額	-4,714,850	-146,405
一般正味財産期首残高	77,623,072	72,908,222
一般正味財産期末残高	72,908,222	72,761,817
II 指定正味財産増減の部		
受取補助金等	0	0
富山県補助金収入	0	0
日本アイバンク協会助成金収入	0	0
LC奉仕銀行助成金収入	0	0
受取負担金	0	0
受取寄付金	0	0
LC奉仕銀行助成金収入	0	0
基本財産運用益	0	0
基本財産利息収入	0	0
特定資産運用益	0	0
一般正味財産への振替額	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0
指定正味財産期首残高	0	0
指定正味財産期末残高	0	0
III 正味財産期末残高	72,908,222	72,761,817

※決算額Aは、財団法人富山県アイバンク（自平成21年1月1日～至11月1日）の決算額です。
 決算額Bは、公益財団法人富山県アイバンク（自平成21年11月2日～至12月31日）の決算額です。

公益財団法人富山県アイバンク理事・監事

(平成22年7月1日現在)
理事42名・監事2名

役職	氏名	備考
理事長	高田 眞	阪神容器(株)代表取締役会長
副理事長	大黒 幸雄	(株)マルチ・アクセス・カンパニー代表取締役
副理事長	宮岸 武	北陸バンドー(株)代表取締役社長
常務理事	野村 謹吉	(株)ガスコムノムラ会長
常務理事	森 弘	防災電設(株)代表取締役
理事	井村東司三	井村医院院長
理事	本村 哲明	(株)北日本工芸代表取締役
理事	岡本 武勇	元JA大山中央代表理事組合長
理事	伊勢 豊彦	(株)セイ・アグリーステム代表取締役
理事	金井 澄子	富山県善意銀行参与
理事	寺崎 達二	(有)寺崎樹脂代表取締役
理事	藤沢 実	司法書士藤沢実事務所
理事	高田 順一	阪神容器(株)代表取締役社長
理事	笠島 學	医療法人社団紫蘭会光ヶ丘病院理事長
理事	清水 英子	富山県善意銀行副理事長
理事	海野 進	富山県社会福祉協議会専務理事
理事	牧 亨	東光運輸(株)代表取締役社長
理事	藤巻 篤子	眼科医師
理事	吉田 隆	(株)吉田家具店代表取締役
理事	飯田 久範	富山県厚生部長
理事	山田 祐司	山田祐司眼科医院院長(富山県眼科医会会長)
理事	林 篤志	富山大学医学部眼科教授

役職	氏名	備考
理事	石灰 甚一	(株)石甚代表取締役会長
理事	林 巖	あおば税理士法人税理士
理事	中尾 順一	(株)ホクペレ代表取締役社長
理事	木村 正明	木村経営会計事務所所長
理事	磯野 敏雄	司法書士・土地家屋調査士・行政書士磯野敏雄事務所所長
理事	野村 健造	野村土建(株)代表取締役
理事	中村 政勝	富山コピー販売(株)代表取締役社長
理事	上田 英俊	富山県議会議員
理事	張田 昭夫	ハリタ金属(株)代表取締役
理事	石灰 治一	石灰商店代表
理事	川合 八郎	笹嶋工業(株)代表取締役会長
理事	大浦 均	クレハインシュアランス(有)代表取締役
理事	木谷 建一	木谷総合学園学園長
理事	佐賀野昭一郎	(有)佐賀野通送代表取締役
理事	慶野 耕一	慶野住設(株)代表取締役
理事	篠井 晴夫	元高岡信用金庫
理事	浦山 哲郎	学校法人浦山学園理事長
理事	流田 範男	英知建築事務所所長
理事	吉田 松男	松よし店主
理事	熊野 清	砺波宅建企画代表
監事	高瀬 清春	高瀬公認会計士事務所
監事	港 勉	保護司

公益財団法人富山県アイバンク評議員

(平成22年9月1日現在)
計 37名

氏名	備考
村家 博	むらい食品(株)代表取締役
江畑 拓	富工建設(株)代表取締役
松下 栄信	(株)松下工業代表取締役社長
大坪 敏雄	大栄印刷(株)代表取締役
高田 重信	富山市議会議員
瀬川 憲一	鹿鳴館代表
田繩りつ子	(株)フィール代表取締役
長谷川修博	日本海調温(株)代表取締役
山口 清	(有)富山重機代表取締役
浦田 啓一	(有)しまだ代表取締役
寺島 太郎	(有)プロハート代表取締役
中野 道嘉	中野道嘉事務所所長
辻井 益雄	(株)富花代表取締役
吉川 裕	(有)吉川保険事務所代表取締役
橋本 徳倫	徳城寺住職
菅野 寛二	菅野印刷興業(株)代表取締役
西田 克美	(有)西田環境保全センター代表取締役
窪田 一誠	立山町町議会議員
前田 新作	滑川市議会議員

氏名	備考
池原 憲文	池原印刷所代表
高緑 勉	高緑タイル店代表
柳澤 伸一	(有)クリーンみず總代表取締役
城 外喜男	(株)双葉商会取締役社長
若森 征雄	若森商店代表
板野 吉秀	(株)いたの代表取締役社長
平木 光昭	平木歯科医院院長
小濱 裕夫	中村機械代表
一川 順彦	
森越 隆士	昇永工業(株)代表取締役社長
山下 光造	(有)山下建築設計事務所代表取締役
石村 正男	北海工業(株)代表取締役社長
永森 忠志	永森建設工業(株)代表取締役
高松 和宏	北日本フードサービス(株)代表取締役
片山 孝志	片山工業(株)代表取締役
野田 孫就	野田歯科医院院長
石黒 稔	(有)ミヤコ代表取締役
北岡 勝	社団法人富山県善意銀行常任理事兼事務局長

アイバンク Q&A

Q 献眼登録をしたいとおもいますがどのようにすればよいのでしょうか？

A まず事務局までご連絡ください。電話・Eメールいずれでもかまいません。ご登録いただいたあと、アイバンクカードをお送り致します。

Q 献眼登録をしたいのですが年齢制限はありますか？

A 年齢の制限はありません。例えば、100歳以上の方でも献眼していただいております。

Q 白内障の手術をしたのですが献眼できますか？

A 出来ます。近視、乱視、老眼、色盲の様な眼の異常、白内障などの眼の病気があっても登録は可能です。

Q 身体の他の部分の病気の為に登録できない場合がありますか？

A エイズ、B型肝炎、神経系疾患、敗血症、白血病などの病気は献眼できません。

Q 献眼した後はどのようになりますか？

A 義眼を挿入し、その後エンゼルメイクを施しますのでおだやかなお顔はそのままです。なお、摘出の時間は30分程度とわずかです。

公益財団法人 富山県アイバンク事務局

〒930-0194 富山市杉谷2630 TEL(076)434-5710/FAX(076)436-0146
ホームページ <http://www.toyama-eyebank.com> E-mail info@toyama-eyebank.com

★広報委員

牧 亨	清水 英子	寺崎 達二	野村 建造	石灰 甚一	中村 政勝	吉田 隆
上田 英俊	高田 順一	張田 昭夫	海野 進	石灰 治一	林 巖	川合 八郎
中尾 順一	佐賀野昭一郎	木村 正明	慶野 耕一	高瀬 清春	筏井 晴夫	港 勉
浦山 哲郎	大浦 均	流田 範男	木谷 建一	吉田 松男	熊野 清	

編集後記

富山県アイバンクは、平成3年12月発足以来19年の歴史を刻んでいます。

その間、献眼登録をして頂いた人数は19,361名で、その内、実際に献眼をして下さいました人数は240名の多きに達しています。

ここに改めて尊い献眼者皆様のご冥福を心からお祈り申し上げます。

また、発足時は「財団法人」として設立されましたが、21年11月に公益認定を頂き、「公益財団法人」として新たなスタートを切り事業充実が図られることとなりました。

よって、ライオンズクラブ並びに医療機関関係の皆様、どうぞ、一人でも多くの角膜疾患の方に光を取り戻してもらえることを期して、県民皆様の温かいご理解とご支援を頂けるよう、献眼活動に、更なるご尽力を賜りたく、お願い申し上げます。

監事（広報委員）： 港 勉

第16号 平成22年12月24日

発行

公益財団法人 富山県アイバンク

富山市杉谷2630

TEL (076) 434-5710

発行人 高田 眞